



当市の新型コロナウイルスへの 対応について

無会派 三宅 紀昭

問 新型のコロナウイルスはイギリス株・インド株と言われる変異したウイルスへ置き換わりが進み、日本中に広がっており、感染力が強い上に症状が重く、若年層に広がる特徴があることは報道により、海老名市民や国民が広く知り得ていると考えます。去る4月23日、高齢者の2回接種を7月末までに終わらせるとの目標が突然政府より発表されました。市では実現可能なのかお伺いします。

答 (市長) スケジュールを組み直し、7月末には完了できる枠組みを整えました。

問 全国のお自治体において、ワクチンが常温保存された、同じ日に2回接種してしまった、薄めずに接種したなどのアクシデントや接種ミスが多発しております。これらを防ぐための本市としての対策をお伺いします。

答 (市長) 集団接種の運営シミュレーションを複数回行うとともに、医師会との協議により課題を共有し、ミスが無いよう取り組んでいきたいと思っています。

問 今後もし、アクシデントや接種ミスが発生した場合、どのような形で報道機関などに公表されるのかお伺いします。

答 (保健福祉部長) 接種時の記録を基に発生した過程を整理し、再発防止策と併せて、公表に臨む考えです。

問 今後数年は続くと言われる状況において、経済的打撃を受けた市民および市内業者への支援策をどのように考えているのかお伺いします。

答 (市長) 今後の市民および市内業者への支援策は国県の動向、市内経済の状況を充分勘案し、見極めてまいります。

その他の質問

- 当市のNHKとの受信契約等、見直しについて
- 海老名市ハザードマップの活用性について
- 地盤沈下変動の状況について



公共施設再編(適正化)計画の 実施状況について

政進会 市川 洋一

問 公共施設におけるサービスの提供を継続していくために、人口動向など社会状況や市民ニーズの変化に応じた公共施設の配置や規模の見直しを図るとともに、保有に必要な将来費用を明確化し、施設の寿命の観点から財政的にも効率的な運営を図ることとされています。

平成29年に策定されました公共施設再編(適正化)計画について、すでに4年目に突入しておりますが、この間には、新型コロナ感染症による市民生活の激変、台風などの影響から、相模川氾濫可能性による水没危機での避難経験などもあり、この再編計画で狙った内容について、さらに充実すべき内容は何かを明らかにする必要性があると考えています。そこで、公共施設再編(適正化)計画の実施状況、これまでの進度状況、課題および計画立案時からの与件変更などについてお尋ねいたします。

答 (市長) 市では公共施設の老朽化に伴い、今後増大する大規模改修費や更新費などの財政負担の低減、平準化に向け公共施設再編(適正化)計画を策定しました。この中では各施設群を11分類に分け、今後の方針性や40年先までの実行計画などを記載しています。

また、各施設の個別施設計画を策定することになつております。今年度の機構改革で営繕課を組織し、個別施設計画を策定する予定です。内容は施設の劣化調査、長寿命化検討、40年間のライフサイクルコスト算出などです。個別施設計画策定後に、改修スケジュールの集計、財政負担の低減、平準化の調整、再編手法の検討を行い、公共施設再編(適正化)計画を改定し、実行していきます。

答 (理事兼財務部長) 今年度は文化会館、保育園、こどもセンター、食の創造館を含めた学校施設などの個別施設計画の策定を進めております。

その他の質問

- 農福連携について
- 病児・病後児保育について



ヤングケアラーについて

公明党 福地 茂

問 ヤングケアラーとは、一般的に家族の介護やケア、身の回りの世話を担う18歳未満の子どものことを指します。食事、洗濯といった家事から、親のトイレの介助まで担っている子どももいると言われています。本人はそれが当たり前と思っていても、将来的に、健康、教育、幸福度などに影響を与える可能性があるとされ、支援が必要です。

ヤングケアラーの問題で難しいのは、対象者を見つけることだそうです。そのためにも、介護、医療、福祉、教育などの関係団体に対し、研修会などの学ぶ機会を設けることも一つの方法と考えます。そして、このヤングケアラー問題を広く知つてもらうためには、啓発活動も大事だと思います。この啓発について、福祉部門と教育部門の考え方をお聞かせ下さい。

答 (保健福祉部次長) 社会的認知力を高めること、また、小中学生や高校生にヤングケアラーを知つてもらうことは大事なことだと思います。11月ごろになるかとは思いますが、市役所のエントランスホールや海老名駅前の銀行のショーウィンドーなどでパネル展を行つて、市民の方々にもご覧いただきたいと考えております。

答 (教育長) 海老名市内の中学校も対象となつた3月の国調査の結果から、8割の子どもたちがヤングケアラーという言葉を知らなかつたことを知り、衝撃でした。教育委員会としては、市独自でヤングケアラーの啓発用リーフレットを作成し、できれば夏休み前に全生徒に配布したいと思います。

ヤングケアラーの啓発用リーフレット

えびな市議会だより 令和3年8月1日 8